



ふれあい

第69号

やまかみニュース

鳴門山上病院

介護老人保健施設
いこいの家

鳴山荘

やまかみ 訪問看護
ステーション

■発行■ 医療法人 久仁会

homepage <http://www.kyujinkai-me.or.jp>
E-mail info@kyujinkai-me.or.jp

TEL687-1234 (代)

TEL687-1005(代)

TEL683-6205(代)

TEL683-6727(代)

〒772-0053 鳴門市鳴門町土佐泊浦字高砂205-29

私は最近つとに「老人力」が付いてきた。老眼で手元も見にくく、もともと近視で遠くも見にくい。3月に半月くらいの間、右下肢の神経痛で歩きにくくなつた。外来診察も、普段は患者さんは前を向いて座つたままでいてもらい、自分がさつと立ち上がって患者さんの後ろに回つて聴診していたのが、よいしょと立つよになつた。宴席に招かれたのも一旦座ると立ち上がりにくくなりそうでお断りしてしまつた。年をとると普通にできていたことができなくなるということを実感した。諸先輩方はそんなの序の口と言われるだろう。今後は本当の意味で高齢者の立場に立てるようになりそうだ。

平成28年4月熊本地震の被災者の皆さんに心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。われわれも今後の南海トラフ大地震への備えを再確認したいと思います。

医療法人久仁会ダーウイン計画

医療法人 久仁会 理事長 山上 敏子

また、年を取つてみると昔のことよく思い出す。私もテレビを見たり雑誌を読んだりすると、夫と一緒に行った、一緒に食べたなどの思い出がよく浮かんでくる。

たびたび思い出すのが最後にかわした言葉と夫の顔。内容は二人の秘密だが、おしゃべりして「またね」と、ニコッとして夫の部屋を出た。その数分後に夫は倒れた。最後の会話がお互い笑顔でよかつたといつも思う。人間いつ何があるかわからないのだから、家族も友人も職場の仲間も少なくとも出かけるとき、帰るとき、別れる時、笑顔でありたいと思う。特に高齢の方に対しても笑顔は当然のことだ。だから、年老いた母にはできるだけ会いに行って優しい言葉をかけたいと思っている。

現在、私は54歳。同級生には孫がいる人もたくさんいるが、研修医の息子から「お母さん、あと10年頑張つて。」と言われているので、もうひと頑張りやり抜いて後進に

任せたいと思っている。さて、鳴門山上病院、介護老人保健施設いこいの家鳴山荘は建て替え準備中です。人口減、社会保障費削減、建築費高騰という非常に厳しいなかでのこの事業は2度目創業ともいうべき大事業です。関係する多くの皆さんのご協力を得て、順調に準備は進んでおり、大変感謝しております。

今年度は法人内勉強会のテーマも「新生・医療法人久仁会ダーウィン計画」へ変化するものが生き残る「」と銘打ちました。夫がよく引用していたダーウィンの名言「強いものが生き残り、弱いものが滅びるのでなく、変化するものが残っていく」を実践していきます。



医療法人久仁会、社会福祉法人鳴寿会とともに「困ったときはやまかみに」と、地域のお役に立てるよう精進して参ります。どうかよろしくお願ひいたします。

寿

百歳おめでとうございます



平成28年4月18日に山本 花子様の100歳の
敬老慶祝訪問がありました。

いつも笑顔の山本様、御家族様やスタッフに祝
福を受けられました。

いつまでも、お元気で長生きして下さいね。

いこいの家 鳴山荘 スタッフ一同

お食事に使う『自助(じじょ)具(ぐ)』をご紹介します

リハビリテーション部門 統括副士長 作業療法士 木内千世

『自助具』とは、自立を助ける道具です。体の障がいが原因で困っている生活の動作を、
可能な限り自分でできるように工夫した道具のことを『自助具』と言います。

今回は、当院にある自助具のなかで、食事に関係するものをお紹介します。



- ① すくい易いお皿
- ② 握り易いスプーン
- ③ 使いやすいお箸
- ④ 滑り止めマット
- ⑤ コップを持ちやすくするホルダー
- ⑥ スプーンなどを持ちやすくする
スポンジハンドル

などなど、今回ご紹介しました自助具はご
く一部です。

これら以外にも、ひとりひとりのお体の状態に合わせて、道具を工夫いたします。

自助具に興味・関心のある方は、リハビリ職員へお声かけください。

優功賞 授与

平成28年5月8日、医療法人久仁会山上敦子理事長が、役員としての長年の功績により、一般社団法人徳島県医師会より、『優功賞』を授与されました。

合格発表

介護支援専門員

◎時本

(伸江
理学療法士)

◎藤井

(峰夫
作業療法士)

おめでとうございます



そら豆の彩りサラダ

管理栄養士 明賀 由佳

《材料》 4人分

*そら豆 (莢から出したもの)	1カップ
*アボカド	1個
*スイートコーン	1/2カップ
*小エビ	100g
*マヨネーズ	大さじ2
*塩・胡椒	少々



《作り方》

- ① そら豆は塩水の熱湯で2分程度茹で、皮をむく。
- ② ①のゆで汁で小エビをさっと茹でる。
- ③ アボカドは一口大に切る。
- ④ 全ての具材をさっくり混ぜ合わせる。

《ポイント》

- ・ 1cm程度皮に切れ目を入れておくと剥きやすいです。
- ・ そら豆は茹ですぎるとボロボロになってしまいますので、ゆで加減に注意しましょう。

莢とそら豆を繋ぐ、
へその緒のような部分は珠柄(しゅへい)
と呼ばれ、ワタからの栄養を送り込んでいます。



莢のワタは、弱い
若いそら豆を優しく
包み、寒さや乾燥から
守っています。
葉や根から送られて
きた栄養分は、一度
このワタに蓄えられ
ます。



平成28年3月25日にゾンタクラブの皆様の慰問が有りました。歌や踊りを始めマジックなど思考をこらした催し物を沢山してくださり、四国大学の学生によるジャグリングではダイナミックな動きに皆様大変喜ばれ、大変楽しい時間を過ごす事が出来ました。

ゾンタクラブ

ボランティア



さくらまつり



さくらまつり

院内行事



平成28年4月16日(土)に『さくらまつり』が1階ホールで開催されました。今年も「つたの会」の方々が唄や踊りを披露してくださり、たくさんの利用者様、患者様、職員共に楽しい時間を過ごすことが出来ました。終わった後では「楽しかった」という声も聞こえてきました。「つたの会」の皆様、本当にありがとうございました。また、お待ちしております。



平成28年3月31日にお花見ドライブに行ってきました。今年はあいにく桜がほとんど咲いていなかったため、近くのウチノ海公園に春の散策に言ってきました。
心地よい春の風に皆様笑顔で穏やかな時間を過ごされました。



趣味の作品展

通所リハビリテーション【ステップ】の利用者様の『趣味の作品展』を開催しております。皆様の日頃の力作を是非、ご覧下さい。細かい手作業や豊かな感性を存分にご堪能下さい。

開催期間

平成28年5月16日（月）～平成28年6月10日（金）まで
場所 鳴門山上病院 1階ホールにて



力作揃いです!!





2月生まれのおともだち



1月生まれのおともだち



みんなそろって
はい、ポーズ♪
いいお顔してね～☆



3月生まれのおともだち



先生のおはなし
貞剣にきいてます



お内裏様に
三人官女♪



マリヤすだち保育園便り

1月は1人、2月は3人、3月は2人のお友だちのお誕生日会をしました。
2月は鬼さんがやってきて、こわかつたね。でも、力いっぱい豆を投げて鬼をやっつけたよ!!
3月はひなまつり、すまし顔で写真をとりました。
そして、卒園式。今年は5人のお友だちが卒園しました。幼稚園に行つても、元気で、お友だちと仲良くしてね♪



そつえんおめでとう♪



3月14日に『マーヤすだち保育園』の卒園式が行われました。

この春、5名の園児がそれぞれの幼稚園に巣立って行きました。

小さい赤ちゃんだった子供達もすっかりお兄さん、お姉さんになりました。幼稚園に行ったら、お友だちをたくさん作って、楽しく過ごしてくださいね。一緒に過ごした小さな弟や妹たちも、応援しています。また、遊びに来てね。



ママより一言♪
元気に育ってね。

かのんちゃん 1歳



平成28年2月26日にモアナコーストにて徳島県介護老人保健施設協議会リハビリテーションサービス部会が開催されました。リハビリ科専門医である、芝篤志先生による講演「高齢者におけるリハビリテーションプログラム作成とリスク管理」と、老健・大西弘子（理学療法士）による「生活機能へのアプローチにより住宅型施設への入所に至った一症例」について講演を行いました。

ひなまつり



★3月3日 ひなまつり

- ・雛ちらし寿司
- ・酒粕汁
- ・鰯のもろみ漬け
- ・2色ゼリー

ちらし寿司には豪華にうなぎとエビを飾り付け、桃の節句をお祝いしました。

お花見



★4月4日 お花見

- ・ふくさ寿司
- ・清汁
- ・焼鰯の葱醤油かけ
- ・さつまいもの小豆煮

ふくさ寿司に散らした桜でんぶは、桜の花をイメージしました。

春のイベント食事紹介♪

節 分



★2月3日 節分

- ・お寿司盛り合わせ
- ・清汁
- ・揚げ出し豆腐
- ・節分饅頭

お寿司は3種盛りにし、可愛らしいオニの和菓子をつけました。

春分の日



★3月22日 春分の日

- ・山菜しらすごはん
- ・清汁
- ・天ぷら盛り合わせ
- ・胡瓜の酢の物
- ・抹茶水ようかん



春の旬の山菜を取り入れ、炊き込みご飯を提供しました。

編集後記

熊本地震から早1ヶ月が過ぎました。被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。南海トラフによる地震も怖かったのですが、今回の熊本地震により、四国を横断している活断層による地震も怖くなつてきました。昔に『日本沈没』などといふ不気味な作品が映画化され、数年前にもリメイク版の映画がありました。が、気味です。備えあれば憂いなし、地域とのコミュニケーションがいかに大切か再確認いたしました。

詳しくは
院内掲示ポスター
をご覧下さい。

・七夕まつり
7月中旬

院内行事予定